

みんなで連携して生きものの賑わいを取り戻そう！！

かわごえ里山イニシアチブでは、無農薬による米作りを支援しています。

かわごえ里山イニシアチブでは

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

田んぼが米作りだけの価値だけではない重要な役割を担っていることの理解と普及を目指します。

戦前まで日本各地に普通に生息していた「コウノトリ」や「ホタル」の里を復活させましょう！！

連携中の田んぼ(H26.9 現在約 4,000 m²)

- 吉田地区
みなみかぜいきいき田んぼの会
(生物多様性有機農法で地域づくりをする会)

- 笠幡地区
東洋大学「笠幡水田再生プロジェクト」

- 福田地区
高梨農園



- その他、かわごえ里山イニシアチブでは連携田んぼを募集しています。

活動の取り組み

- 生きもの調査、生物多様性による農法など、連携田んぼの支援を行います
- 吉田地区のホタルの復活
吉田地区では、地域交流センターみなみかぜの中庭のビオトープ及びお滝様脇を流れる湧水を利用して、環境保全の象徴としてホタルの復活を目指します。
- 「かわわシェア田んぼ」参加者募集！！
1反の田んぼをシェアして自分たちの食べるだけのお米を無農薬で自給したいという方が仲間を募っています。この「かわわシェア田んぼ」に一緒に参加していただける方を募集しています。「かわわ」とは、「川越の輪」を意味します。

「かわごえ里山イニシアチブ」では、かわわシェア田んぼが田んぼによる環境保全や里山保全につながることから全面的な支援を行います。

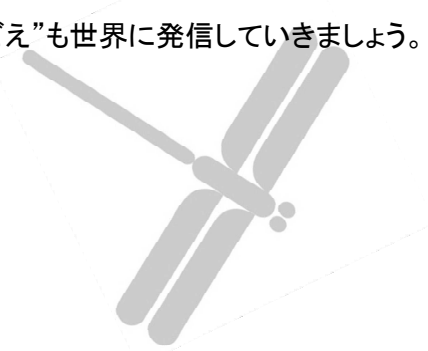
農家の方には、かわわシェア田んぼに協力していただける方を求めています。是非、ご協力ください。

愛知目標 2011-2020

愛知目標は、2010年名古屋市で開催された国連の生物多様性第10回締約国会議(COP10)で、世界193ヶ国が誓った「生きものを大切にしよう」という国際的な約束です。20の個別目標があり、日本政府も国民も、みんなで2020年までに達成しなくてはなりません。



愛知目標の達成年である2020年は、東京オリンピックが開催される年でもあり、川越市笠幡ではゴルフオリンピックが開催されます。これを機に生物多様性に取り組む日本の代表的里山を世界の人々にアピールし“小江戸かわごえ”だけではなく“SATOYAMA(里山)かわごえ”も世界に発信していきましょう。



入会のご案内

あなたも「かわごえ里山イニシアチブ」の会員になって、みんなで連携して生きものの賑わいを取り戻す活動をしませんか！

生物多様性に関わる活動を行う個人・団体と連携して、田んぼの代かき、田植え、草取り、稲刈り等の支援、生きもの調査や学習会、休耕田のビオトープ化、有機農法教育・学習会を行い「コウノトリ」が呼べるような地域を目指しましょう。

活動できない方は寄付で活動をご支援ください。

■ お問い合わせは

かわごえ里山イニシアチブ

〒350-1108 埼玉県川越市伊勢原町 2-11-11

☎ 049-234-5269(代表理事 増田純一)

✉ kawagoesatoyama@gmail.com

Blog <http://blogs.yahoo.co.jp/jmasudas>

f <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

行動計画(個別目標)

かわごえ里山イニシアチブでは、2010年に名古屋で開催された国連の生物多様性締約国会議(COP10)で愛知目標のもとに設定されたラムサール・ネットワーク日本が取り組む「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」の行動計画と連携して活動を展開しています。

- 水田目標1
水田の生物多様性向上に関する広報、教育、普及啓発を推進する
- 水田目標4
水田の生物多様性を向上させる施策や補助金等を拡大する
- 水田目標5
あらゆるレベルの関係者が水田の生物多様性を向上させる行動を進める
- 水田目標7
水田の生物多様性が向上するよう農業が行われる地域を持続的に管理する
- 水田目標8
不適切な農薬や化学肥料等の使用による汚染から水田の生物多様性の損失を防止する
- 水田目標14
劣化した水田生態系の15%以上を回復する

会費:正会員 2000円 賛助会員 1000円
学 生:無料
寄 付:1口 500円(2口以上でお願いします)
振込先:ゆうちょ銀行 普通預金
記 号:10310
店 番:038(他金融機関から振込の場合)
口 座:2165541
名 義:カワゴエサトヤマ



かわごえ里山イニシアチブ

Kawagoe Satoyama Initiative



生きものの賑わいを取り戻そう！
生きものと共生して、
つながる、拡がる！



かわごえ里山イニシアチブでは「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」の Iki・Tomo パートナーズのメンバーとして生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組んでいます